

瀬戸市立萩山小学校 開校10周年記念誌



昭和57年11月

教 育 目 標

- たくましく生き抜く力を持った子
- よく考え、みずから学ぶ子
- なかよくはげまし合い、進んで奉仕する子
- いのちやからだを大切にし、
持久力のある体力を持った子
- 礼節を重んじ、思いやりのある子



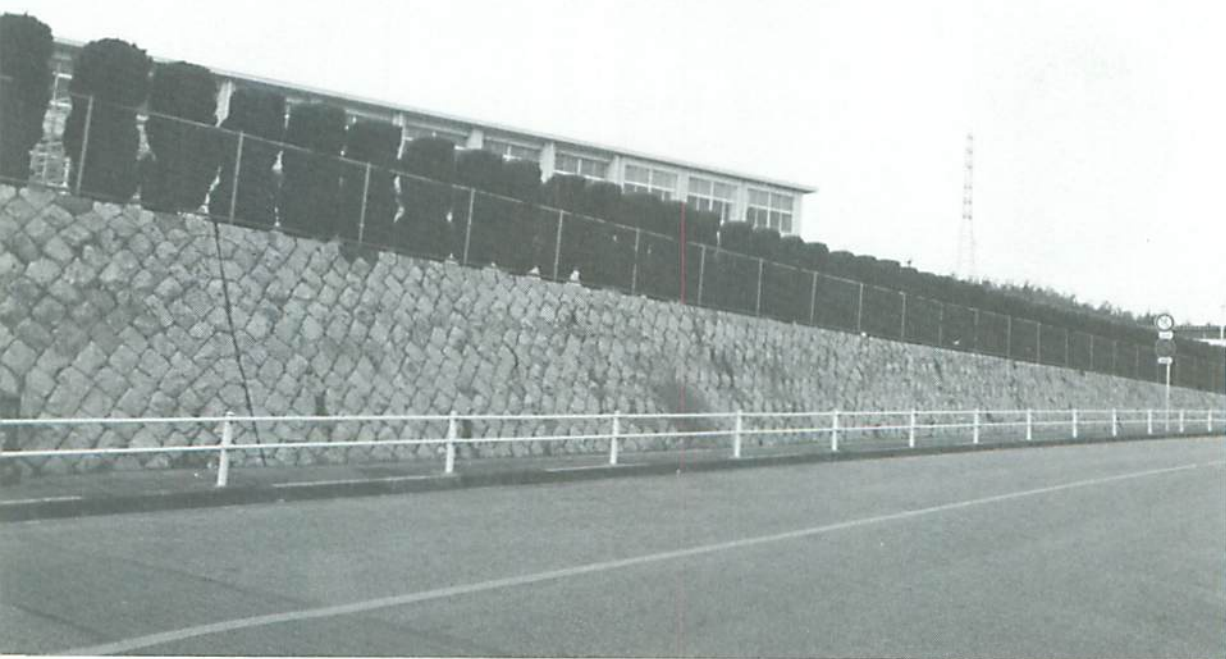
校歌

作詩 大野 定一
作曲 横川 志保子

一、風さわやかな 丘の上
明るい陽ざし校庭に満ち
学びにはけむ 瞳あり
われら 萩山小学校
明るく強くたくましく
心豊かに伸びようともに
あすの日本の若い芽だ

二、鈴鹿は遠く陽に映えて
大きい空にとどろくと
望みを語る 響あり
われら 萩山小学校
明るく強くたくましく
心豊かに伸びようともに
あすの日本の若い芽だ

三、朝露光る 学舎に
みなぎる力身にひめて
未来をめざす姿あり
われら 萩山小学校
明るく強くたくましく
心豊かに伸びようともに
あすの日本の若い芽だ



開校10周年を祝して



学校長 栗 木 通 久

本校が現在のようにかくも立派な教育の殿堂として発展するに至った10年を回顧する時、幾多の困難な経緯をたどってきたことは事実であり、まことに隔世の感を禁じ得ないものがあります。

私は4代目校長として赴任し、この栄えある開校10周年を迎え、教育条件の整備された現状において学校経営ができますことを有難く、むしろ申し訳ない気持ちで一杯であります。またこの良き時代に本校に職を奉ずることのできましたことを教職員ともども心から感激している次第であります。

沿革史をひもとき、一昔10年の過去に思いをいたしますと、児童数144名、学級数6、教職員は毛利元孝初代校長始め11名で、昭和48年4月3日に開校されました。当時は校地も造成されたばかりで、校庭らしきものもなく、校内の緑は皆無の状況でした。ところが今では歴代校長、教職員を始め、市当局・学区・父兄等関係各位のご理解ご協力により、教育施設は充実され、教育条件も整備され恵まれた教育環境にさせていただきました。そして10年目の本年度は、児童数1119名、学級数27、教職員数36名という大規模校に発展いたしました。私共一同先輩各位の尊い力に思いをいたし、今後はこの恵まれた施設を活用し、教育内容の充実に努め、各位の期待や要望に応えるよう覚悟を新たにします。

開校10周年を祝して



PTA会長 小 栗 敏 男

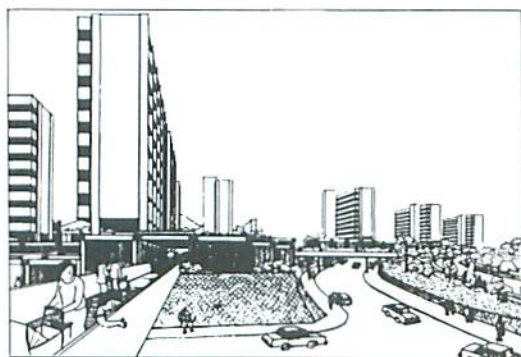
昭和48年4月、県有林を切り拓いて出来た菱野団地の片隅に、呱呱の声をあげた萩山小学校が、いまや立派に成長して開校10周年を迎えました。誠に欣快にたえません。心からお祝いとお慶びを申し上げます。

顧みれば、萩山小学校10年の歩みは、新設校の宿命として、教育環境整備に追われた10年でありました。幸いにして、関係当局の温かいご理解、PTA会員の皆様の教育に対する高い見識と熱意、先輩各役員・委員の皆様の格別のご努力のお陰により、逐次設備も拡充されてまいりました。来年度には、いよいよプールの設置も予定されており、ようやく他校に何らひけをとらない教育環境の完備した学校となります。

萩山小学校は、開校以来「緑と太陽のある学校」を標榜しております。これは単に、「校庭に木々が生い繁り、太陽がさん然として輝く学校」という意に止まらず、「知性（緑）と情熱（太陽）をもった人間に育てる」ことを教育理念としていると解されます。

いま、創設期から発展期への転換の節目にあたり、こうしたすばらしい理念に基づく学校教育の進展が、期待されるところです。21世紀の世界を担うに足る人間が育てられますよう、萩山小学校のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

菱野団地



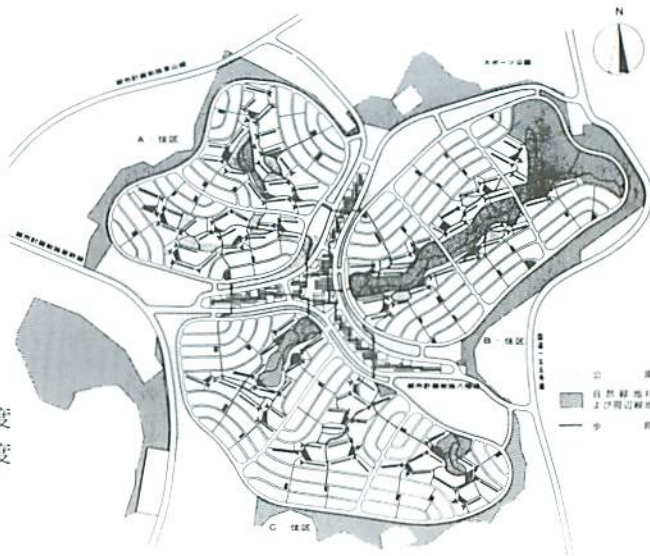
▲ 中心地区の構想

“緑と太陽の街”をテーマに設計された菱野団地は、愛知県の新地方計画の重点事業の一つとして昭和42年より建設が開始された。

名古屋の都心から僅か18キロの距離にある瀬戸市菱野・山口地区の丘陵地に173ヘクタールの「ニュータウン」を開発し、名古屋、春日井、豊田など人口集中地区の住宅難の解消を図るとともに、新たな発展期を迎えた瀬戸市の都市開発の一翼を担うことを目的として開発が推進された。

計画の概要

計画面積	173.5ha
住宅建設戸数	6,484戸
(県営住宅)	3,740戸
(公社住宅)	2,744戸
計画人口	26,000人
人口密度	150人/ha
建設計画	
(土地造成)	昭和42～54年度
(用地造成)	昭和44～56年度
事業費	406億円



▼ 現在の菱野団地

▲ 菱野団地全体計画



萩 山 台

菱野団地の中の2番目の住宅として計画し建設された萩山台は、3つの住宅の中では1番高台にある。自然緑地や周辺緑地も多い。

また、元の地形を多く残しているため、中央の自然緑地を背にして、ひな段状に宅地が造成されている。



▲
◀ 建設進む萩山台
▼



計 画 の 概 要

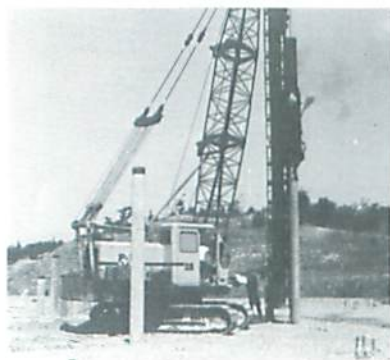
住宅建設戸数	1,894戸
(県営住宅)	1,002戸
(公社住宅)	892戸
計 画 人 口	7,386人
建 設 計 画	
(土地造成)	昭和45・46年
(用地造成)	昭和46～48年



住宅建設とともにすすむ 校 舎 建 築



▲ 学校用地



◀ 杭打ち作業



▲ 遊具の設置

◀ 運動場の整備

学校のまわりでは、道路の舗装や石垣つみが行われており、校地内ではまだ工事が続いていた。砂場の排水、側溝工事、いたるところにころがっている鉄くず、石ころ、木材など……。開校まであと一週間。「こんな状態で開校に間に合うのだろうか」という不安が頭をよぎったと、当時の職員は回想している。

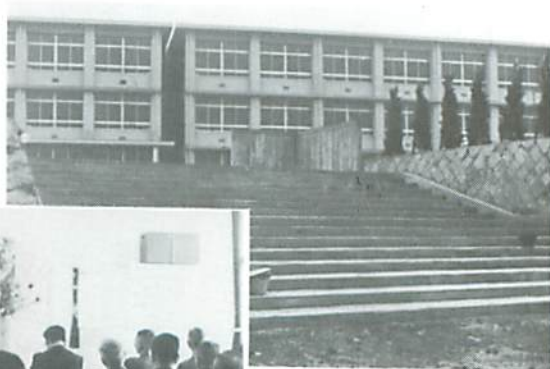


▲ 完成間近かの校舎と上庭

4月3日 開校式

東山小学校に続いて、瀬戸市で18番目の小学校として誕生した。

当日は入学式と重なって、多忙をきわめたが、天候にめぐまれた暖かい日だった。



▲ 新装なった校舎

開校式 ▶

